

# ！ 朝鮮半島と東北アジア地域の平和のために！

## ——米韓連合軍事訓練を中断し、平和交渉に取り組むべきだ

8月10日から米韓連合軍事訓練が始まる。8月10～13日には事前練習である危機管理参謀訓練(CMST)、8月16～26日には連合指揮所本訓練が行われる。米韓軍事訓練は韓国軍と駐韓米軍に加えてアメリカ本土兵力が参加する大規模軍事訓練だ。米韓軍事訓練は当然朝鮮半島と東北アジア地域の緊張を作る。

2018年南北・朝米首脳会談以後、大規模米韓軍事訓練は中断された。去る5月22日、米バイデンと韓国ムン・ジェイン大統領の首脳会談後の共同声明には「2018年板門店(パンムンジョム)宣言とシンガポール共同声明など既存の南北間、朝米間の約束に基づいた外交と対話が朝鮮半島の完全な非核化と恒久的平和の定着を成し遂げるのに必須だ」という共同の信頼を再確認したと発表した。

その言葉が真実ならば、米韓軍事訓練を中断して直ちに対話に取り組まなければならない。朝米間停戦協定から平和協定締結のための対話に取り組むべきだ。去る7月27日、停戦協定68周年を迎えて南北首脳は通信連絡線の復元に電撃合意した。8月5日、韓国の国会議員74人は米韓連合訓練延期を促す声明を発表した。

今は全世界がコロナ パンデミック現象で災難の下にある。大規模兵力を移動させる軍事訓練によって緊張を作るのではなく、全地球的災難に共同で対処し協力すべき時だ。天文学的な軍事費を減らしてワクチンと治療剤を開発し、貧しい国々を支援しなければならない。

1970年、5大核保有国は核拡散禁止条約(NPT)を締結し、米ソ間で核兵器削減協定を締結したが、核兵器保有国はさらに増え、核兵器の性能はより高度化した。今や、2017年に国連の多数の非核保有国が締結した核兵器禁止条約を締結し、地球上にあるすべての核兵器を廃棄する時だ。

同様に、平和のために「武器増強と軍事訓練」を強化しなければならないという論理を掲げているが、結局は戦争に帰結するほかはない。従って、米韓連合軍事訓練も朝中口の軍事力増強と軍事訓練を触発して朝鮮半島と北東アジア地域の平和の代わりに緊張を生み出し、戦争の雰囲気触発するだろう。日韓労働者民衆の連帯で米韓連合軍事訓練をはじめとして、いかなる国であれ、侵略的で攻撃的な戦争訓練に反対して平和を定着させるために努力する。

2021.8.10  
AWC 韓国委員会

01 8.1009  
AWC